

貴社の備えは万全ですか？

職場に求められる「熱中症対策」

～ 激甚化する猛暑から従業員の命と会社を守る ～

開催要項

- 日 時 2026年6月30日(火) 14:00～17:00 (開場 13:30)
- 場 所 大阪中小企業投資育成株式会社 セミナールーム
(大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル28階/京阪「渡辺橋駅」直結)
- 参加費 無料
- 申込締切 6月22日(月)
- 申込方法 大阪投資育成のHP、または右の二次元コードからお申込ください。
※同業の方からのお申込はお断りさせていただきますので、ご了承ください。
- ◎リアル限定申込URL (<https://sbic-wj.seminarone.com/tf218-r/event/>)
定員:20名程度
直接会場にお越しください。



※参加申込みいただきました個人情報、参加者名簿として講師機関と共有し、セミナーの企画・運営・実施のために利用する他、関連するアフターサービス、必要な情報提供及び投資育成制度に関する各種ご案内のために使用いたします。また、申込された方には出席・欠席を問わず講師機関及び弊社より後日ご連絡させていただく場合がございます。

セミナー内容

年々夏の暑さが厳しさを増す中、2025年6月の労働安全衛生規則改正により、企業の「熱中症対策」が義務化されました。企業には、従業員を「熱中症」から守る具体的な対策が求められ、対策を講じないまま重篤な災害を発生させた場合、刑事・民事両面でのペナルティだけでなく、当局による行政指導・勧告や作業停止命令、さらには企業名の公表によるレピュテーションリスクにも晒されることとなり、事業継続に甚大な影響をもたらしかねません。

本セミナーでは、「熱中症」を医学的メカニズムから紐解き、「熱中症」をできる限り発生させない環境整備、万が一「熱中症」が発生した際の『危機管理対策』について重点的に解説します。

経営者はもちろん、現場責任者や作業従事者の方の受講も歓迎します。

< 前半 >

- 講演 医学的根拠に基づいた熱中症対策
 - ・熱中症の病態生理の理解
 - ・人体の熱放散機能について
(皮膚＝ラジエーター、血液＝冷却水)
 - ・“暑熱順化”という生理学的防衛線

< 後半 >

- ワーク① 緊急時対応計画(EAP)作成研修
 - ・事故発生時の判断の迷いを排除し、組織的に命を救うシステムを構築
- ワーク② ローテーションアイスタオル法の実演
 - ・現場で実践できる“効率の良い”人体冷却法

講師紹介

国立大学法人奈良国立大学機構

奈良教育大学教育学部 保健体育講座 教授・整形外科医師

かさなみ

笠次 良爾 氏

教育現場やスポーツ活動における傷病予防研究の第一人者であり、競技経験のあるトライアスロンを中心に、各種スポーツ大会の傷病・熱中症対策本部責任者を歴任。同氏の人体の冷却メカニズムを車(エンジン・ラジエーター・冷却水)に見立てた分かりやすい解説や熱中症対策における緊急時対応計画(EAP)の重要性は、多くの教育・スポーツ現場に受け入れられている。

- ・日本臨床スポーツ医学会 代議員
- ・公益社団法人トライアスロンジャパン 理事
- ・奈良マラソン救護委員会救護本部長
- ・TOKYOオリンピック・パラリンピック トライアスロン競技 選手医療代表…ほか

